政治経済学部
での
フランス語学習

Apprendre le français à Seikei

■ フランス語を学ぶことの意義とは

どの第二外国語を選択すればいいか悩んでいるあなたへ。

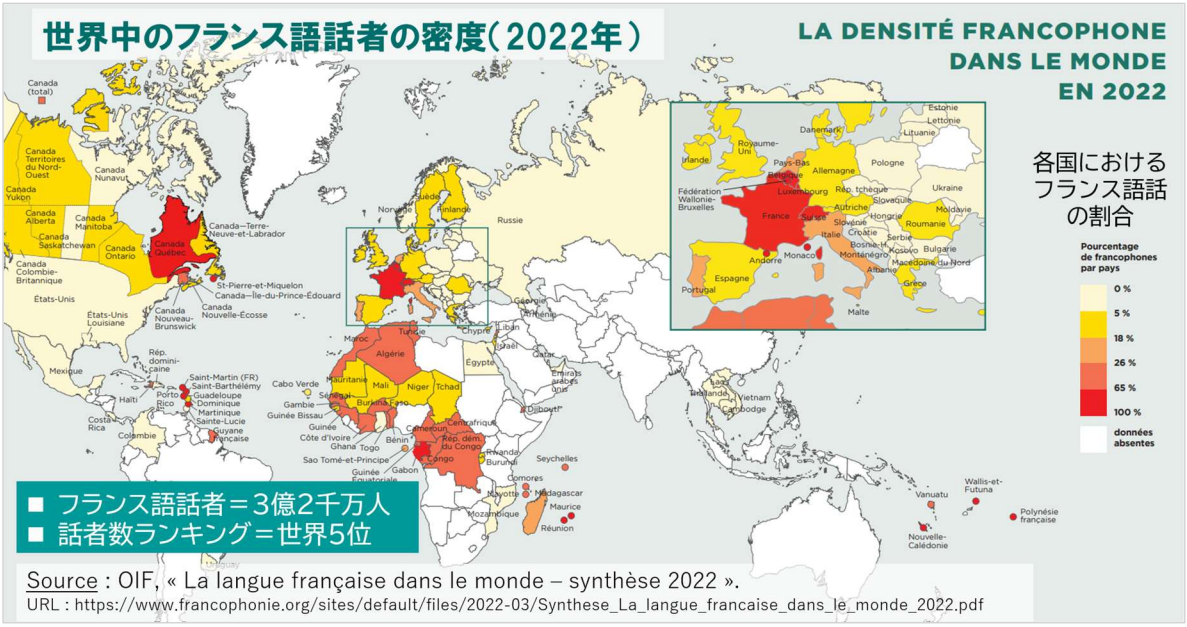
もしあなたが特定の国や地域に興味を持っているならば、それはそこで使われている言語を学ぶための何よりの理由となります。その興味は何物にも勝る学習の意欲となり、そして学んだ言語はあなたの未来を変えて、いずれは生涯を共に歩む友にもなりうるからです。

フランスの美しい街並みや豊かな食文化に惹かれて旅行をしたい人。華やかで攻撃的なプレースタイルで知られるサッカーのリーグ・アンの試合を観戦したい人。1789年から始まる数々の革命やナポレオンの生涯など西欧の歴史、時には世界の歴史を語る上で欠かせないフランス史をより深く知りたい人。ファッションが好きな人。フランス文学を原文で読んでみたい人。5週間のバカンス（有給休暇）で知られるゆったりとしたライフスタイルに憧れる人。大規模な抗議デモが頻繁に行われる国民性やその社会背景に興味がある人。フランスに興味を持ち、フランス語を学習する動機は多種多様といえるでしょう。

またフランス語という言語そのものに惹かれる人もいるかもしれません。ロマンス諸語の中でも特徴的な響きを持つフランス語を美しく感じる人は少なくありません。文法はさながら幾何学的に刈り込まれたフランス庭園のようで、文章をまるで方程式を扱うかのように数学的に組み立てることができるという人もいます。

そして興味よりも実利を求めて第二外国語を決めたい人へ。フランス語は数少ない世界各地で通用する言語のひとつで、その話者は3億2千万人を超えています（世界5位）。そのうち2億5千万人が日常的にフランス語を使用し、3割がヨーロッパ、1割がアメリカ大陸、そして6割がアフリカに住んでいます。特に英語とフランス語の両方を扱える人材がアフリカの市場開拓に挑む日本企業から求められています。海外進出に挑む日本企業とは反対に、ラグジュアリー、ファッション、金融、エネルギーな

ど様々な業界で活躍している在日フランス企業も多くあります。また国際機関の公用語であるフランス語を扱うことができれば将来そういった機関の仕事に就くことも可能でしょう。フランス語の学習によって得られるキャリアの選択は多岐に渡ります。



では最後にフランス語を学んだあなたの未来の姿をひとつ想像させてください。

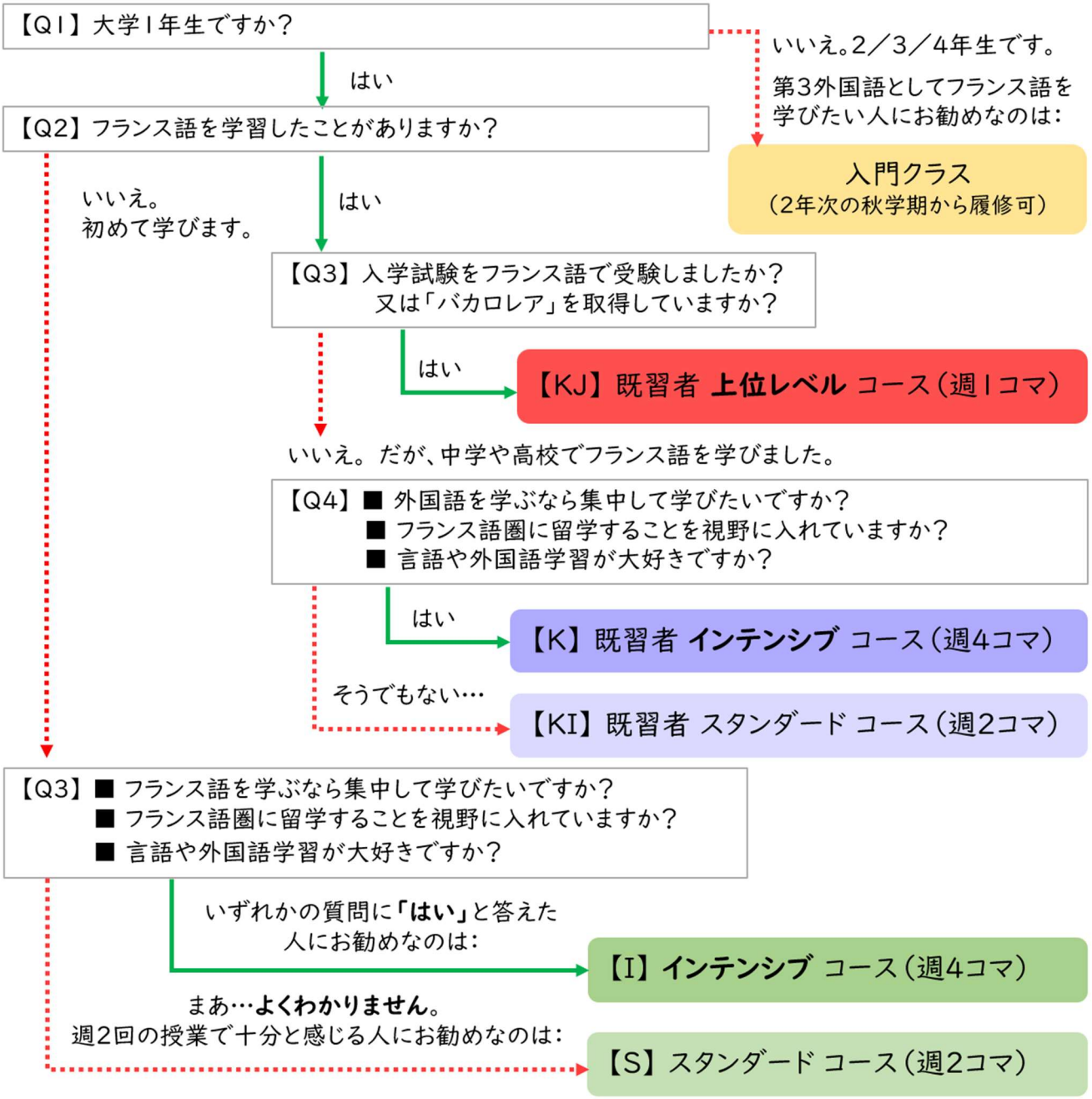
14 時間の長いフライトを経てシャルル・ド・ゴール国際空港に到着。パリ市内のモンパルナス駅まで移動して次の電車を待っていると 20 分も遅れることを知らされる。まあ余裕ができたということで、駅構内のパン屋さんに入ってコーヒーとスイーツを注文。言葉がちゃんと通じたという安堵と共に本場のカヌレの味に舌鼓を打ち、ほっと一息。無事に 20 分遅れの電車に乗り込み発車時刻になったとき、なんとも耳慣れないアナウンスを聴くことに。「みなさま、今回はたった 20 分の遅れで済みました。私達にしては悪くないのではないでしょうか」車掌さんのユーモアはわかるものの日本ではありえないことですね（私―アメリ・コーベル―の実体験です）。隣の席の乗客もこのアナウンスには驚いたようで「ちょっと SNCF（フランス国鉄）は勝手すぎない？」と話しかけてくる。自信のないフランス語で答えると出身地を尋ねられて、日本から来たことを言うとマンガが大好きなそのフランス人は大喜び。電車に乗っている間、2 時間近くもマンガやアニメの話で盛り上がる。たった 3 年間の勉強でこんなに話が通じるのかと感動するばかり。そうこうしてるうちに、いよいよ目的地であるフランス西部のナント市に到着。そこは大学 1、2 年生のときに使っていたフランス語の教科書の舞台である。

…このような未来の姿、いかがでしょうか？

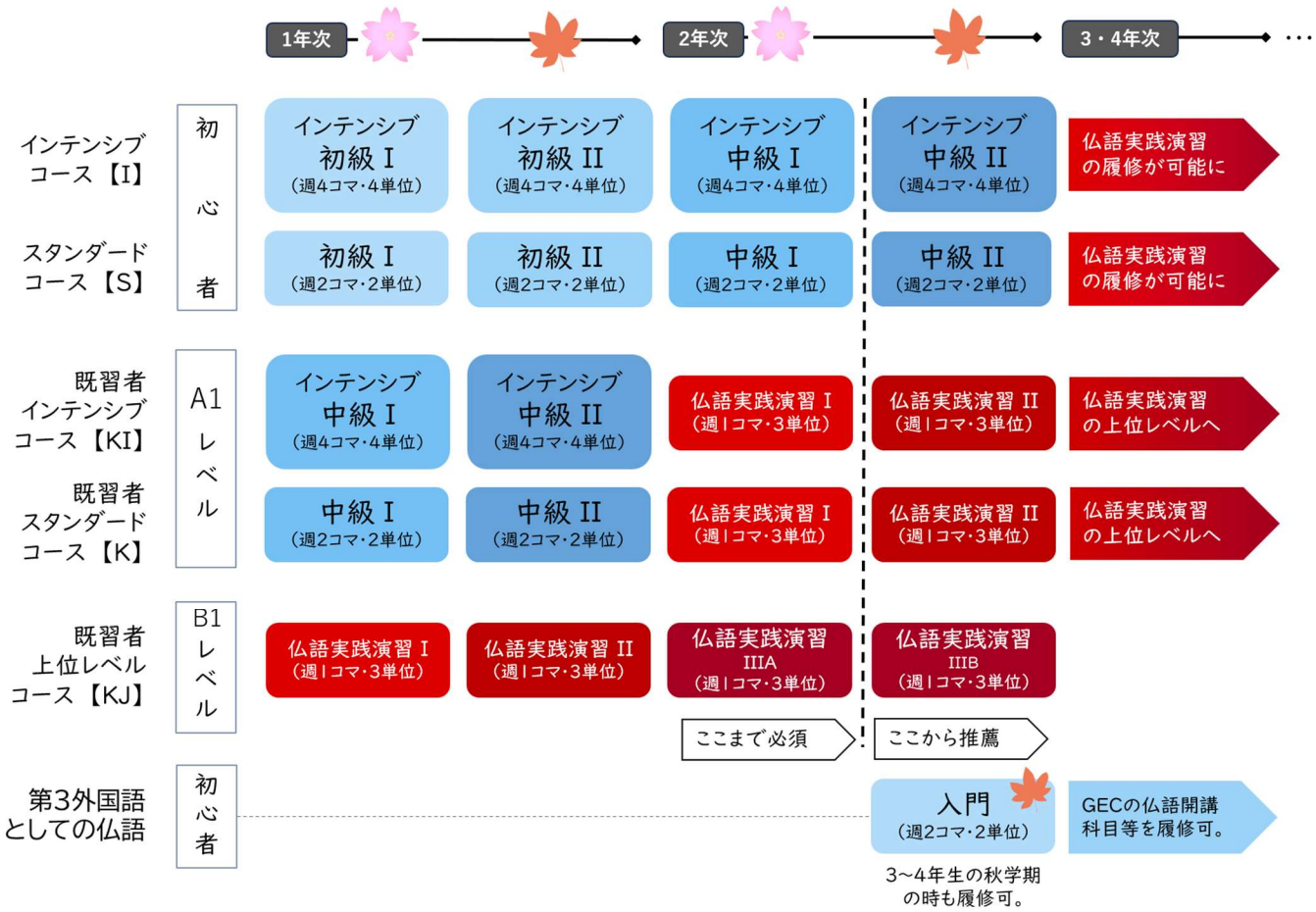
■ フランス語科目の履修方法

どのフランス語のコースを選べばいいか迷っているあなたへ

――次の質問に答えてください――



■ 履修パターン



注意点：上記の図に示している履修パターンは順調に学習が進んだ場合です。再履修が必要になった時に、半年遅れクラス（初級 I ，初級 II，中級 I，中級 II）も用意しています。

■ フランス語科目の簡単な紹介

▶ インテンシブ 初級 I・II ＆ インテンシブ中級 I・II

週 4 回の授業があり、フランス語を集中的に学習します。日本人教員が担当する週 2 回の授業では、文法の学習と文章の読解を行います。残りの 2 コマでは、フランスで出版されている教材を用いて、会話、聴解、発音練習等といった実践練習を行います。週 4 回の授業だからこそ、発話の機会が多く、日々フランス語に触れることで、確実にフランス語を身に付けていきます。2 年間で交換留学が可能な B1 レベルに到達することを目標にします。

▶　初級Ⅰ・Ⅱ　＆　中級Ⅰ・Ⅱ

週 2 回の授業があり、そのうち日本人教員が担当する 1 コマでは文法を学び、ネイティブ教員が担当するもう 1 コマではフランスで出版されている教材を用いて、単文レベルのフランス語と日常的なフランス語の表現の実践練習をします。2 年目以降は（中級クラス)、日本人教員が担当する授業では、文法の学習のみならず、比較的にやさしい読み物も読みます。もう 1 コマでは状況に応じた幅広いコミュニケーション能力を養成します（ネイティブ担当)。2 年間で A2 レベルに到達することを目標にします。

▶　仏語実践演習Ⅰ・Ⅱ

週 1 コマで構成される B1 レベルの授業です。ネイティブ教員が担当するこの授業では、テキストの読解、映像・音声情報の的確な把握とその文字化、日常生活から国際関係まで様々な分野で意見交換を行い、多様なアプローチを通してフランス語の実践的な運用能力を身に付けます。内容に関してはクラスごとに異なりますので、それぞれのシラバスを参照してください。★「外国語地域副専攻（フランス語)」の指定科目でもあります。

▶　仏語実践演習ⅢＡ・ⅢＢ

週 1 コマで構成される B2 レベルの授業です。フランス語の documents authentiques（外国語学習者向けに作成されていない資料のこと）を用いて一つのテーマを深堀します。この授業では教科書を使わず、教員が選んだテキスト（新聞記事，書籍の抜粋など）や映像（ニュース，ドキュメンタリー映画など）を理解し、自らの意見をフランス語で述べられるようになることを目指します。ご参考までに 2025 年度の仏語実践演習 III A では、近年のフランスの社会運動について学習し、仏語実践演習 III B では、フランスの国際放送チャンネル TV5 Monde の動画を基に様々な社会課題について考えました。「外国語地域副専攻（フランス語)」の指定科目もあります。

■ 外国語地域副専攻（フランス語）

政治経済学部では、複数の言語を使うことができる複言語能力の発展を後押しする取り組みの一つとして、2019 年度から「外国語地域副専攻」の制度を開設しています

[1]。提供されている言語は５つで、その一つにはフランス語があります。フランス語を使ってフランス語圏地域の政治、社会や経済について専門的に学べる貴重なチャンスです。フランス語圏への留学準備や留学後のフォローアップにも大いに役に立つことでしょう。

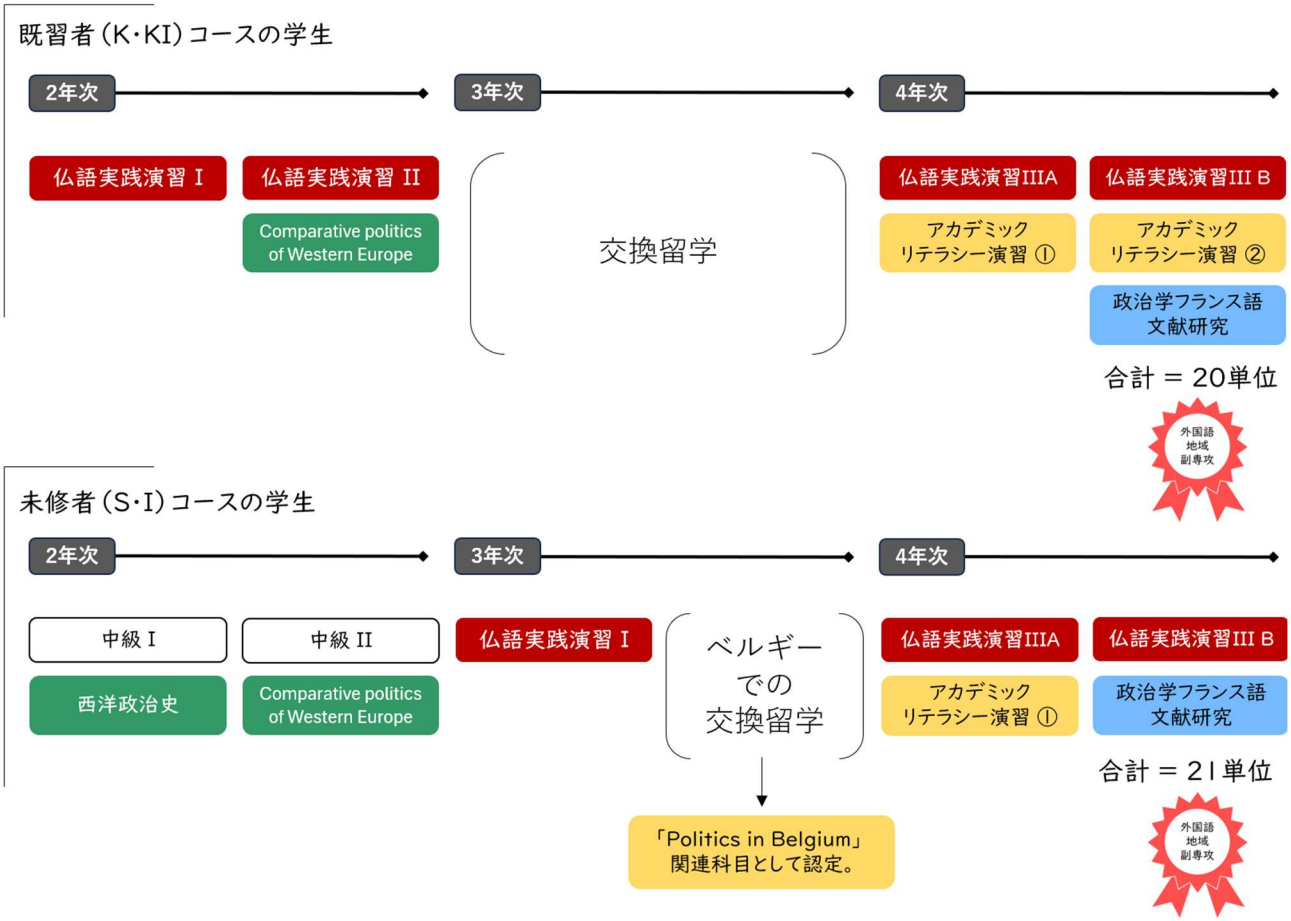
４年間の大学生生活の中、何を学ぶかは基本的に自由です。その機会を使って、自己投資の一環としても、一生残る外国語能力に打ち込むのはいかがでしょうか？「外国語地域副専攻」を修了したことを証明する「副専攻修了証」を発行いたしますので、就職活動の際にご自身のアピールに繋がること間違いなしです。ぜひ「外国語地域副専攻」の修了を目指してください！

「外国語地域副専攻（フランス語)」の実現性を身近に感じていただくために、副専攻の修了に必要な単位数や科目の他、二つの履修パターンの具体例を以下に記載しました。ご興味がある方はご参照ください。

必要単位数				科目名	単位数
実践演習	6単位以上		合計20単位以上	仏語実践演習 I	3
				仏語実践演習 II	3
				仏語実践演習 III A	3
				仏語実践演習 III B	3
演習	2単位以上	合計6単位以上		アカデミックリテラシー演習 ①(社会文化研究)	2
				アカデミックリテラシー演習 ②(ジェンダーから見たフランス社会)	2
				学際領域演習 I, II, III, IV(ブロッソーシルヴィ)	2
関連科目	2単位以上			政治学フランス語文献研究	2
				地域文化研究 (フランス)	2
				留学先で受講した科目の一部が認定される可能性がある。	2
関連科目(広域)	2単位以上			西洋政治史	4
				西欧諸国の比較政治	2
				Western Political History	2
				Comparative Politics of Western Europe	2
				グローバル･リテラシー総合講座 (世界の言語/言語の世界)	2
				等～ 留学先で受講した科目の一部が認定される可能性がある。	2

[1] GEC（グローバルエデュケーションセンター）全学副専攻の制度とは異なります。

▶ 履修パターンの具体例



ご覧の通り、大学で一からフランス語を学び始めた学生（未修者コース）でも、副専攻に必要な単位を十分取得することができます。